

# 事業の概要について

## 事業の趣旨

### 警察が設置する街頭防犯カメラの目的

- ◆ 公共空間における犯罪の予防
- ◆ 犯罪発生時の速やかな認知・的確な対応の確保

### 【整備の現状】

10都府県363台（H21年3月末）  
→整備の必要性が高い地区が存在

### 必要な対応策

- ◆ 限られた体制でも効果的な運用を可能とするシステム
- ◆ プライバシーに関する国民の不安を払拭する機能の強化

### の実現

#### 異常検出



#### アラーム鳴動・点滅



署通信室・当直室

#### 現場急行



的確な対応の確保

- 異常行動検出機能
- プライバシー保護機能
- アクセス権設定機能

実証・開発

- ◆ 警察としての標準的な街頭防犯カメラシステムの実証・開発
- ◆ 運用に係るガイドラインの策定

## 事業の進め方

### モデル地区

- ◆ 神奈川県川崎市JR川崎駅東口地区 ～ 街頭防犯カメラ50台を設置

### 年度計画

※事業期間は平成21年度から2ヵ年を予定。

有識者研究会（指導・助言）

#### 【平成21年度】

- システム設計・整備
- モデルシステム運用開始（12月頃～）
- 中間取りまとめ（3月頃）

#### 【平成22年度】

- 通年運用によるデータ収集
- システム検診・技術改善等
- 最終取りまとめ